

現地観測結果（冬季） 重点観測フィールド

河川、大規模公園等の比較的自然環境が残っている地域を対象に目視、捕獲による観測を行いました。
 注目される種の名称に付いている丸数字は、「注目される種の選定根拠」を表しています。（次頁参照）

		野川・国分寺崖線フィールド		仙川・北野フィールド		玉川上水フィールド		井の頭公園フィールド		善福寺公園フィールド		石神井公園フィールド		八の釜フィールド	
		確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種
動物	哺乳類	アズマモグラ	なし	アズマモグラ	なし	アズマモグラ	なし	アズマモグラ、タヌキ	なし	アズマモグラ	なし	アズマモグラ	なし	なし	なし
	計	1種類		1種類		1種類		2種類		1種類		1種類			
	鳥類	カイツブリ、ゴイサギ、ダイサギ、マガモ、ツミ、ノスリ、イカルチドリ、セグロカモメ、ヒメアマツバメ、アオゲラ、ハクセキレイ、モズ、アカハラ、ホオジロ、イカル、エナガ等	ダイサギ、トビ、ツミ、ノスリ、チョウゲンボウ、クイナ、パン、イカルチドリ、ヒメアマツバメ、カワセミ、アオゲラ、ウグイス、イカル、エナガ	カワウ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、マガモ、カワセミ、コゲラ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、メジロ、アオジ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス等	ダイサギ、チュウサギ、カワセミ、ウグイス	オシドリ、カルガモ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、シメ、スズメ、ハシボソガラス等	オシドリ、ウグイス	カイツブリ、ゴイサギ、オシドリ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、パン、ユリカモメ、カワセミ、アオゲラ、コゲラ、ピンズイ、モズ、エナガ、マヒワ、ムクドリ等	オシドリ、パン、カワセミ、アオゲラ、ウグイス、エナガ	カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、カルガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、パン、ユリカモメ、カワセミ、アオゲラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、カワラヒワ、シメ等	オシドリ、パン、カワセミ、アオゲラ、ウグイス	カイツブリ、オシドリ、マガモ、ホシハジロ、パン、オオパン、キジバト、カワセミ、アオゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ホオジロ、スズメ、カケス、オナガ等	オシドリ、パン、カワセミ、アオゲラ、ウグイス	カルガモ、コガモ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス等	ウグイス
	計	56種類	14種類	32種類	4種類	20種類	2種類	37種類	6種類	31種類	5種類	37種類	5種類	17種類	1種類
魚類	オイカワ、カワムツ、コイ、ナマズ、メダカ等	ナマズ、メダカ	タモロコ、モツゴ、コイ、ギンブナ、メダカ	メダカ	ニゴイ、コイ	ニゴイ	モツゴ、コイ、ブルーギル、ウキゴリ、トウヨシノボリ等	ウキゴリ、ヌマチチブ	オイカワ、カワムツ、モツゴ、カムルチー、ブルーギル等	なし	モツゴ、コイ、タイリクバラタナゴ、ブルーギル、ヌマチチブ等	ヌマチチブ	ニゴイ、コイ、フナ属の一種	ニゴイ	
	計	8種類	2種類	5種類	1種類	2種類	1種類	7種類	2種類	9種類	8種類	1種類	3種類	1種類	
底生動物	アタマビル、サワガニ、サホコカゲロウ、オニヤンマ、ヒラタドロムシ等	ハグロトンボ、オニヤンマ、ゲンジボタル	ヒメモノアラガイ、ヌマビル、ミズムシ、フロリダマミズヨコエビ、ハグロトンボ等	ハグロトンボ	カワコザラガイ、エラミミズ、ミズムシ、シロタニガワカゲロウ、ニンギョウトビケラ等	なし	カワコザラガイ、ヌマビル、テナガエビ、スジエビ、サホコカゲロウ、ハグロトンボ等	ハグロトンボ	ミツゲミズミミズ、シマイシビル、スジエビ、シロハラコカゲロウ、オオユスリカ等	なし	ヒメタニシ、エラミミズ、ヌカエビ、コシアキトンボ、アカムシユスリカ等	なし	サカマキガイ、ヌマビル、ミズムシ、フロリダマミズヨコエビ、ミナミヌマエビ、シロハラコカゲロウ等	なし	
	計	99種類	3種類	32種類	1種類	30種類	40種類	1種類	37種類	22種類	39種類				
植物	附着藻類	メロシラ科 <i>Melosira varians</i> 、ナビクラ科 <i>Amphora pediculus</i> 等	なし	ユーノチア科 <i>Eunotia minor</i> 、ニッチア科 <i>Nitzschia amphibia</i> 等	なし	ヒゲモ科 <i>Homoeothrix janthina</i> 、スリレラ科 <i>Surirella angusta</i> 等	なし	カワモツク、タラシオシラ科 <i>Cyclotella asterocostata</i> 等	カワモツク	タンスイベニマダラ、ビドルフィア科 <i>Hydrosera triquetra</i> 等	タンスイベニマダラ	-	-	ミドリカワモツク、ニッチア科 <i>Nitzschia solgenensis</i> 等	カワモツク、ミドリカワモツク
	計	90種類		16種類		32種類	49種類	1種類	43種類	1種類	64種類	2種類			

（注）両生類、爬虫類、昆虫類、クモ類、陸産貝類、土壌動物、植物、蘚苔類、地衣類、菌類については、活動期をむかえる春、夏、秋季の観測で行う予定です。

現地観測結果（冬季） 一般観測フィールド

重点観測フィールドを除く地域を対象に目視を中心とした観測を行いました。

注目される種の名称に付いている丸数字は、「注目される種の選定根拠」を表しています。（右表参照）

		東名高速道路周辺～国道20号周辺		国道20号周辺～東八道路周辺		東八道路周辺～青梅街道		青梅街道～関越自動車道周辺	
		確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種	確認されたすべての種	そのうち注目される種
動物	哺乳類	アズマモグラ	なし	アズマモグラ、	なし	アズマモグラ、 タヌキ	なし	アズマモグラ	なし
	計	1種類		1種類		2種類		1種類	
	鳥類	コサギ、 ヒドリガモ、 オオタカ、 ハイタカ、 セグロカモメ、 トラツグミ、 アカハラ等	ダイサギ、 オオタカ、 ハイタカ、 カワセミ、 トラツグミ、 ウグイス、 イカル	ダイサギ、 オナガガモ、 ハクセキレイ、 ツグミ、 アオジ、 イカル、 スズメ等	ダイサギ、 ウグイス、 イカル	カワウ、 マガモ、 イソシギ、 シロハラ、 エナガ、 カワラヒワ、 オナガ等	ウグイス、 エナガ	オナガガモ、 アオゲラ、 キセキレイ、 ジョウビタキ、 シロハラ、 ウグイス、 ムクドリ等	アオゲラ、 トラツグミ、 ウグイス
	計	39種類	7種類	18種類	3種類	28種類	2種類	30種類	3種類
	魚類	-	-	-	-	-	-	モツゴ、 コイ、 ドジョウ、 トウヨシノボリ	なし
計							4種類		
底生動物	-	-	-	-	-	-	ハバヒロビル、 シマイシビル、 ミズムシ、 フロリダマミズ ヨコエビ、 アメリカザリガ ニ、 サホコカゲロウ 等	なし	
計							31種類		
植物	付着藻類	-	-	-	-	-	-	ディアトマ科 <i>Fragilaria capucina</i> 、 ユーノチア科 <i>Eunotia minor</i> 、 ナビクラ科 <i>Amphora pediculus</i> 等	なし
	計							50種類	

（注）両生類、爬虫類、昆虫類、クモ類、陸産貝類、土壌動物、植物、蘚苔類、地衣類、菌類については、活動期をむかえる春、夏、秋季の観測で行う予定です。

注目される種の選定根拠

- ・本資料では、以下の法律で指定されている種や文献に記載されている種を注目される種としました
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律第75号）
- 「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）
- 「改訂版 日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-」（環境省）
- ・哺乳類（2002.3）
- ・鳥類（2002.8）
- ・植物（維管束植物以外）（2000.12）
- ・汽水・淡水魚類（2003.5）
- 「レッドリスト（日本の絶滅のおそれのある野生生物種のリスト）」（環境省）
- ・陸産水産貝類（2000.4）
- ・無脊椎動物（昆虫類）（2000.4）
- ・無脊椎動物（クモ形類・多足類等）（2000.4）
- ・無脊椎動物（甲殻類等）（2000.4）
- 「東京都の保護上重要な野生生物種」（東京都）（1998.3）
- 「杉並区自然環境調査報告書（第4次）」（杉並区環境清掃部環境課）（2003.3）